

LIFELONG LEARNING (一生学び続けるということ)

指導教諭 M.K

今年度の受講生の中には気づいている人もいると思うのですが、本校英語科のA先生はビジネス学を、本校元英語科のB先生は環境学を熱心に学んでいらっしゃいます。学内留学が始まって5年目、このお二人の先生はずっと生徒と共にこのALL ENGLISHの特別講座の受講を続けていらっしゃいます。私の目から見てすでに高度な英語力をお持ちなのに、それでもなお自ら学ぶ姿勢を生徒に示されています。この向上心溢れる先生方を素晴らしいとか、ただ立派だとかと言っているのではありません。「一人の生徒である時間を楽しませてもらっているなあ」と憧れに近い感情を持っています。

私自身、ある先生に触発されて、昨年9月20日から、一日25分、夜、スカイプ英会話を受講しています(忙しくてできない日もありますが、もうすぐ10,000分達成)。フィリピンやセルビア、ボスニア・ヘルツェゴビナ、ルーマニア等の南ヨーロッパの先生方と英語で話す時間を過ごしていますが、それは英語を上達させるためというより、お互いの身の回りでその日に起きたことを伝え合うことが楽しいからなのです。学問を教える立場は常に大きな責任と隣合せです。逆に物事を教わる立場に身を置いて、「I have no idea. (わかりません)」という言葉が発することができる気楽さと新しいことを知ることによって幸せを感じているからなのです。受験のためでもなく、就職のためでもなく「学ぶ」ということはそのような純粋なものであるべきなのです。私も北野を退職したら「学内留学」全講座出席したいと密かに考えています。まずは、教育学から始めましょうか。

教育学担当 ピーター先生



法学担当 ダレン先生



ビジネス学担当 ランス先生



心理学担当 クレイグ先生



天文学担当 ジョッシュ先生



環境学担当 ノエル先生



A 講座 Education Course (教育学講座) by Mr.Peter Vande Veire

2年6組 A.Y

第3回の授業内容と感想

前回の授業で教わった様々な能力"multiple intelligence"について、グループで復習し、北野高校の授業の中でどんな能力が使われているかを紹介するプレゼンに挑戦。また、実際に"multiple intelligence"を使う活動を行いました。健康と食について知るために、いくつかのファストフード店の栄養表を見て計算し、どんな組み合わせが健康的か考え、忙しくて食事に時間をかけられない人にぴったりのヘルシーでクリエイティブな食べ物をグループで創造しました。また、新たなグループにわかれて、「大陸移動説」について様々な方法でアプローチ。大陸の形に沿って切った紙をゆっくり動かし、粘土で大陸の形を作って、ぶつけて、ヒマラヤ山脈やアルプス山脈の形成について、見て、さわって、学習しました。最後に、"cooperative learning"の基礎事項の講義を受けました。

最初のうちはみんなシャイで、自分の意見を上手く伝えることができず、滞りがちだったグループ活動も、第3回目となると、たくさんの方が英語を使ってグループ活動で意見を言えるようになってきました。ひとつのテーマについて様々なユニークな方法で学習するので、楽しい雰囲気でも、毎授業ワクワクするし、抵抗なく英語を話せます。最終回では、これまでに学習し、実践した学習方法を活かした最高の授業を考え、プレゼンに挑戦します。先生とよく練習したアイコンタクトを上手くできるように、じっくり復習し、練習していきたいと思います。

B 講座 Law Course (法学講座) by Darren Larson

1年4組 M.S

第3回目の法学講座の内容は以下の通りです。

- 1限目 死刑制度の是非についてのプレゼン練習
- 2限目 グループでのプレゼン発表
- 3限目 公共の場所での喫煙について議論
- 4限目 いじめについて議論
- 5限目 契約とは何かの説明

2限目のプレゼン発表では、グループごとにスライドの作り方から話し方まで丁寧に具体的なアドバイスをたくさん頂きました。例えば、cue cards を作って話したいことを整理する等です。学内留学以外でもこれからプレゼンテーションをする際に非常に役に立つと思いました。また、3, 4限目には様々な社会問題に目を向けることで、それらに対する理解が深まりました。このように社会的なトピックについて英語で議論を行う機会はあまりないので、貴重な体験になりました。最後の5限目は、契約について詳しく学びました。契約を成り立たせる条件等、知らなかったことも多く、新しい専門用語もたくさん学ぶことができました。普段の授業では扱わないような専門性の高い分野について学べるのが学内留学の醍醐味のひとつだと思います。

C 講座 Business Course (ビジネス学講座) by Mr. Lance Domotor

1年5組 R.T

1. 今回の授業内容

- ・一時間目 シリアルボックスのプレゼン準備
- ・二時間目 シリアルボックスのプレゼン
- ・三時間目 二時間目の続き
- ・四時間目 ある製品について企業間の差のプレゼン
- ・五時間目 各国のステイクホルダー

2. 授業を受けて

各自で事前に考えた、「シリアルボックスに入れたらいいと思うおもちゃ」についてのプレゼンをした。おもちゃの性能や機能、安全性までを考慮し、小さい子どもにも使いやすいようにデザインすることは難しく、発案することの企業にとっての大変さを経験できた。このような経験を社会人になる前の段階でできたことは、将来的に見てとても有意義だったと思う。また、これまであまりしなかったスライド作りをたくさんすることで、スライドの作り方や他人に見やすいスライドの特徴なども勉強できた。最後の授業では、日本と世界の経済学の違いを文化の違いの面から教えていただき、経済に対する考えが変わった。一つのことを多くの点から考えることができるのが学内留学の一番の点だと思う。

D 講座 Psychology Course (心理学講座) by Craig Boobyer

1年3組 T.S

1. 今回の授業内容

- ・一時間目 短いプレゼンテーション
- ・二時間目 宿題の確認
- ・三時間目 講義
- ・四時間目 講義
- ・五時間目 発表に向けての準備

2. 授業の感想

最初に、前回宿題で出された2, 3分程度のプレゼンテーションをしました。僕の発表は少し短くなってしまいましたが、みんなはしっかり3分ほどのまとまったプレゼンを用意していました。次に、身のまわりで心理学が自分たちに及ぼす影響についてペアで話し

合いました。みんな積極的に英語で言いたいことを伝えようとしていて、面白い意見はクレイグ先生が指名してみんなに発表しました。3, 4時間目の講義はクレイグ先生がわかりやすい簡単な英語で説明してくれて、プリントを使ってクイズのような感じで楽しい授業をしてくださいました。最後は次回のプレゼンテーションについて説明を受け各班で話し合いをしました。常に先生も生徒も英語で話していたので新鮮で楽しかったし、英語のコミュニケーション能力が向上したと思いました。

E 講座 Astronomy Course (天文学講座) by Mr. Josh Glaser

1年2組 H.Y

- 1.水星、金星のグループ発表
- 2.木星、土星、天王星、海王星のグループ発表
- 3.クイズ、答え合わせ、どのようにして太陽系ができたのかを絵を使って表す
- 4.準惑星、発表するためのスライドの作り方
- 5.発表するためのスライドの作り方（文字は大きく、黄色やピンクなど見にくい色は使わない、行間を空ける、写真や文字のみにならない）

まず最初に、それぞれのグループで宿題だった調べ学習の内容を交換しました。今回私たちは木星について調べました。皆かなり詳しく調べていましたが書かれていた英語が難しく、理解しにくいものが多かったです。これからは、そのような単語をもっと単純な英語に置き換えるべきだと感じました。

それぞれでしっかりまとめていたので発表はスムーズにいきました。しかし先生の評価にはほとんど全員が下を向いて話をしていてと書かれていました。確かに他の班はもっと前を向いていたり、黒板を使ったりして発表をする班もあり、もっと発表に工夫が必要だなと思いました。

また、冥王星はなぜ準惑星 (dwarf planet) になったか、が印象的でした。冥王星は他の惑星と違って公転の軌道が楕円であり、傾いていて、少しずつ傾いていることを知りました。また準惑星は他にもエリスなどがあることをはじめて知りました。

F 講座 Environmental Science Course (環境学講座) by Mr. Noel Slattery

1年4組 H.T

- 1) 今回の5時間のそれぞれの授業内容
- 1st period: プレゼンテーションする際にしたほうが良いこと、悪いこと
- 2nd period: パワーポイント作成の注意点
- 3rd period: 前回出された課題の発表
- 4th period: Greenhouse Effect (温室効果) について
- 5th period: 次回の課題、発表の説明

2) 授業の感想

部活動で第一回、第二回の授業を欠席し、オールイングリッシュの授業についていけるか不安でしたが、講師の先生の丁寧な説明のおかげでしっかりと内容を理解することができました。

私がこの授業を受けて普段の授業と違うと感じた点が二つあります。まず一つ目は、自分の興味のある専門分野を英語の授業として学べる点です。講師の先生はゆっくり繰り返し説明してくださるので、とても解りやすいです。また、自分の興味のある分野なので楽しく授業を受けることができました。二つ目は、先生が出した問題をグループで話し合うところです。先生の説明を一方的に聞くだけでなく、班の人達とディスカッションする事で様々な意見を聞くことができました。次の授業も楽しみです。